

令和4年4月13日

進級児保護者の皆様

幼保連携型認定こども園

川島こども園

教育・保育活動についてのアンケート結果のご報告

陽春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、当園の保育・教育活動にご理解とご協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

令和3年度の保育・教育活動についてのアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。ご意見いただいた内容につきまして園としての対応や考え方を以下のように示させていただきます。今年度の保育・教育活動に生かしてまいりたいと思います。

○ 園の取り組みに対しましてたくさんの温かいご意見をいただきました。励みになります。

この2年間、子どもたちや先生、親御さんと会う機会がなく、顔を覚えるのに苦労しました。他学年の顔馴染みのママを作ること出来ませんでした。しばらく続く事でしょう。マスク越しでしか顔を見られない、表情も出しにくく、読み取りづらい、大変な時代だなと思わずにはいられません。しかし、この時代に生きていくしかないんだなあ。こども園のみならず、大変な時代ですが、本当に頑張ってくれ、卒園式を迎えることが出来ました。お世話になりました。ありがとうございました。

担任の先生以外の先生も子供の顔と名前を覚えてくれている事は素晴らしいと思いました。あと、きょうだいのことでもセットで覚えてくれていて、ありがたいです。

とても良かったです。ありがとうございました！

コロナ感染拡大の中、実施できなかった行事もありましたが、なんとか行事を開催しようと考えてくれた先生方にとっても感謝しています。6年間、一緒に子供の成長に携わって頂きありがとうございました。

コロナ禍で、家族以外と関わるのが主に保育園でしかない生活が続き、保育園での対人関係の影響力が大きくなっていることを感じました。家では出来ない成長をさせていただけて、感謝しています。

コロナ禍での、保育お疲れ様でした。子どもたちが、楽しく過ごせるようにと感染対策等力を入れて頂きありがとうございました。我が子は1号さんということもあり蔓延防止中は登園自粛となってしまうお友達や先生と少しでも一緒にいられる事を願っていましたが、残りわずかな園生活となってしまうました。今年1年、たくさんの経験を経て子供の成長が見られたことに感謝いたします。子どもたちが自分の思い、意見を伝えられる環境を作ってください、また、発言する勇気を与えて下さる先生の声掛けがありがたかったです。「子どもたちの、声を聞く。引き出す。」ような保育をたくさんしていただいたように思います。子どもたちが主体となる保育が子供の成長につながっていると思うので、これからも子どもたちが自分で考え、決断し、仲間と協力して生きていく力を学ぶ場であってほしいなあと思います。たくさんの経験をありがとうございました。

コロナ禍での保育、本当にありがとうございました。当たり前のように開園してくださっていましたが、最後の先生方の声を読んで、私生活にまで及ぶ感染対策の努力があつてこそだと痛感いたしました。本当にありがとうございました。常に緊張状態が続いてしまう職業だからこそ、先生方の心と体が休まるケアをして頂けたらと願います。先生方の心と体が元気だからこそ、子供達も安心して遊べるし、保護者も安心して預ける事ができるのだと思います。どうぞ皆さまご自愛ください。本当にいつもありがとうございます。

コロナ禍の中、プラスで感染対策も考え保育をしていただきありがとうございます。以前より子供達や他の保護者さん、先生と接する機会は減りましたがとくに問題はないと思っております。お知らせも充分ですし、思い出ファイルも素敵に作られて忙しい中本当にありがたいとおもっております。今日は何があつた？どんな遊びをしたのかな？など帰宅後会話が増え、つぼみさんだった息子が発表会でこんな練習をしている、だからママも見に来てねと細かく話をしてくれました。その時とくに私から話した訳でもなく発表会の内容も聞かされていなかったのでこんな中でも自分できちんと伝えるができる様になったんだなと成長を感じました。親がすべてを把握しなくても、子供が家とはまた違う別の場所で自分らしく過ごせる場所があるということでありたいですし、私はそれで良いと思っております。

今年も引き続きコロナ禍で大変な状況の中、子ども達のために保育してくださった先生皆さま方には感謝の気持ちしかありません。ただでさえ多忙な業務に加えて本当に大変だった事と思えます。できない事がたくさんある中で、懸命にできる事を模索してくださいました。おかげで子ども達にたくさんの思い出が残ったことと思えます。本当にどうもありがとうございました。

今年度は、コロナ禍ということもあって、様々な行事が今までのようにはできなかったと思います。その中で、職員の皆様の努力が感じられました。本当にお世話になりました。残りの数日も、最後まで、発表会を計画していただき、とても嬉しいです。感謝の気持ちでいっぱいです。自粛期間が長かったので、本人が果たしてできるのだろうか？と心配な思いもありますがこども園でも過ごした思い出の一つになればいいなと思うます。宜しくお願い致します。給食もいつも献立を拝見しています。色々なニューに感心しています。行事食以外の日も写真を公開していただくことが可能ならお願いします。直接園にお迎えに行けないので、ぜひ毎日の給食を拝見したいです。

先生方が、コロナ禍での過ごし方やうがい手洗いの大切さをしっかり伝えてくださったので、子供がそれをしっかり覚えていて、手洗いうがいを積極的に出来る姿を見せてくれました。コロナ禍の中、貴重となってしまった行事にもリスクを伴いながらも実施する方向で進めてくださった事に、感謝しています。

年度始めの5月に親子遠足があると、新しいクラスの子もわかり、保護者も親睦も深められるきっかけとなるので良かったと思います。雨天で室内に変更になりましたが親子で楽しめる内容で、とても楽しめました。来年度も実施の予定とのことで、楽しみです。コロナ禍での保育は、変更することも多く、予定をたてることも難しかったと思います。その中でもプール参観やローテーションの参観など、実際に見に行ける機会を作って頂けて嬉しかったです。コロナ禍での保育は、試行錯誤の日々だとは思いますが、引き続きよろしくお願いします。毎日楽しく登園できているのも、先生方のおかげです。いつもありがとうございます。

朝、園長先生が一人一人名前を呼んでおはようと挨拶してくれるのが、すごいと思います。夏に個別面談でゆっくり子供の園生活の様子を聞いたのは良かったです。

日々子供たちのことを1番に考えながら保育をしてくださっていること、子供から話を聞いたりしながら理解しております。園で起きたことなどを先生方みなさんと共有し、反省しこれからの保育に活かしていくという姿がみれることに安心を感じます。人がすることだから完全ではないことを十分理解しているからこそその対応だと思います。特に問題を感じたことにはありませんが、子供のことで何かトラブルがあればプライバシーなど考慮した上で、可能な範囲でお知らせ頂ければ幸いです。

玄関先で手洗い、検温、消毒をして親を園内に入れないようにするのは感染対策として素晴らしいなと思いました。コロナ禍で先生方も消毒などの仕事や感染に対して気を遣うことが増え大変な中、毎日子どもたちに楽しい保育を提供してくださり、ありがとうございます。行事に関してもきつと何度も話し合って工夫して準備して開催して下さったことと思います。少しの時間だけでも子どもの成長や友達との関わりを間近で見ることが出来てよかったです。先生方1年間本当にありがとうございました。来年度もよろしくお願い致します。

○朝のミーティングについて

朝のミーティングが 8:00~となっているのに 8 時前に始まっていることもあったり、もう手を洗っているのにミーティングが始まるからお待ちくださいと言われ、受け入れの先生が中に入ってしまったのはとても疑問に思いました。時間を厳守してほしいこと、職員間でここまで来てれば預かるなど共通認識をしてほしいです。

8時からとお伝えしていますが、その日の子どもたちの状況内容によって多少時刻が前後することはございます。朝の貴重な時間にご不便をおかけいたしまして申し訳ございません。急に職員が出勤できなくなった時の配置を調整したり、なるべく密を避けるために園庭やホール等の使用や夕方の時間の保育の場所（合同にするか否か）といったことを周知したりするなどコロナ禍において特に「その日の朝」調整をせざるをえないものがございます。当園といたしましては、子どもたちが健康で安全に生活できるように情報を共有してその日の保育にあたりたいと考えていますので、令和4年4月4日付けのおたよりにてお伝えしています通り、当園時刻を前後に少しずらすなどご調整いただき、ご登園くださいますようお願いいたします。

○0・1歳の製作について

0、1歳児で感触遊びや指先を使った遊びなど、日々考えて保育に取り入れてくださったのはありがたいのですが、あまり製作をしていないのか作品ファイルもなく、数回製作を持ち帰ってくるだけだったので、月一回くらい製作をして残してもらえるといいなと思います。園の方針や先生方の負担が増えるなど事情があるかと思いますが、親としては形に残してもらえると嬉しいです。

0・1歳児は日々のおたより帳でのやりとりをしています。園での様子は文字での情報で可能な限りお伝えできるように努めています。一方、コロナ禍において園の様子をご覧いただくことができない状況ですので、特に0・1歳児の子どもたちがどのような活動をしているか視覚的に見ることはできないのは心配もあることと存じます。作った物を持ち帰ってきたらうれしいというお気持ちもお察しいたします。どのようにすれば、子どもたちの安全に配慮しながら保育の様子を視覚的にわかるようにお伝えすることができるか…今後の課題とさせていただきます。

なお、「作品ファイル」という視点におきましては、当園では2歳以降「思い出ファイル」という形で子どもたちの生活の様子をお伝えしています。「思い出ファイル」は毎月決まって作るものを貼り付けた作品帳のようなものではなく、日常の中で子どもたちの育ちが感じられた場面を写真や、時に作品となったものをお持ち帰りいただいているものです。クリスマスプレゼントなど意図的に作品を作ることもございますが、**子どもたちが素材に触れて感じて表現することをねらいとしています**ので、必ずしも作品になるような活動をしているわけではありません。表現の領域の一部として製作があり、様々な考えがあることも承知しています。当園も子どもたちの主体的な保育への過渡期ではございますが、開園以来一貫して0・1歳児が毎月意図的な製作を行うということはおこなっておりません。平面にはおさまらない、体全体を使って遊べるような環境設定を各年齢の保育者が考えて計画を立てています。ご理解いただけますと幸いです。